

野田プラスチック精工株式会社 SDG s 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDG s）」に賛同し、SDG s の達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2021年7月1日

野田プラスチック精工株式会社 代表取締役社長 野田 浩輝

※—— SDGs の達成に向けた取組み ——※

人権・人材育成

労働環境・安全衛生に配慮し、社員一人ひとりが働き甲斐を感じ、能力を十分に発揮できる社内環境を創造してまいります。

また、後進の技能向上・知識の継承に努めてまいります。

《具体的な取組み：工程管理表による労働時間削減、技術と知識を備えた定年後の人材の再雇用》



技術探求

「加工不可能の文字は無い」の精神で、未開の領域に常にチャレンジし続けることで、より良い社会の実現を目指してまいります。

《具体的な取組み：新素材・精密化・省エネ化等技術挑戦を通じものづくりの革新を続ける、DMG森精機ドリームコンテストへの挑戦》



環境対策

環境にやさしい製品を推奨し地球環境保全に貢献してまいります。廃棄物の削減や、設備の省エネ化によりCO2削減を目指し、地球温暖化防止や環境負担の軽減に努めてまいります。

《具体的な取組み：製造過程での資源利用削減・再利用・再資源化、省エネ機械への切替》



共存共栄

取引企業とのコミュニケーションを充実させ、互いにプラスの効果をもたらすことが出来るよう、パートナーシップの充実を図ってまいります。

《具体的な取組み：取引先企業との協業、協力企業との連携》



野田プラスチック精工 株式会社 S D G s 実践計画

当社は、2021年7月1日にS D G s 宣言を行いました。
以来、S D G s の実現に貢献するため、さまざまな項目について取り組みを進めてまいりました。
今般、すでに実践できた項目の報告と、今後実践する項目について、「S D G s 実践計画」として策定しました。
2030年のS D G s 達成に向けて、全社一丸となって邁進してまいります。

2024年1月1日 代表取締役 大田 哲也

今までの取り組みの報告

項目	実践内容	成果	達成したSDGsのゴール
人権・人材育成	■ 定年再雇用制度による65歳以降の継続勤務 ■ 定時退社の奨励 ■ 女性の活躍促進宣言を行い、ワークライフバランスに配慮した柔軟な働き方、能力・個性の発揮できる職場環境の整備、社内の意識改善を実施	➢ シニア世代から若手社員へ技術と知識の伝承 ➢ あいち女性輝きカンパニーの認証取得	 
技術の探求	■ 「加工不可能の文字は無い」の精神で未開の領域（新素材・精密化等）への技術挑戦 ■ 徹底した品質管理にもとづいた生産技術の向上	➢ 持続的な高精度・高品質の製品製造を実現し、お客様の課題解決に貢献 ➢ 品質保証体制の向上	 

今後実践する項目のマテリアリティ



野田プラスチック精工 株式会社にとっての重要度

今後実践する項目のKPI

マテリアリティ	KPI	達成期限	SDGsのゴール
人財の育成・開発	研修制度の充実、生産性UPに向けた教育を年1回以上実施	2025年上期	
働き方改革の更なる推進	働きやすい職場環境の整備（福利厚生の拡充、女性活躍、労働時間短縮、有給取得など）	2026年上期	 
環境課題解決への貢献	「カーボンニュートラル」へ貢献できる製品やサービス・ソリューションの提供	2026年下期	 

ロードマップ

2024年上期	2024年下期	2025年上期	2025年下期	2026年上期	2026年下期
■省エネルギーの推進	■定期的なコンプライアンスチェックの実施	■人財の育成・開発	■新システム導入による業務効率化	■働き方改革の更なる推進	■環境課題解決への貢献